

これから、日本学生支援機構の奨学金の申込についての説明会を始めます。  
説明を担当する事務の吉沢です。よろしくお願いします。

日本学生支援機構の奨学金は、大学や専門学校へ進学し勉強するために必要なお金を給付・貸与の奨学金として利用できる制度の奨学金です。

沼田高校では、去年の3年生の約55%が申し込みました。

募集する奨学金の種類は、給付奨学金と貸与奨学金の2種類です。給付奨学金は、原則卒業後に返還の必要のない奨学金です。貸与奨学金は、申し込んだ人が卒業後に返還する必要がある奨学金です。どちらの奨学金も、学力基準や家計基準といった基準をもとに対象者を審査・選考するので、申し込んだ全員が奨学金の対象になるわけではありませんのでご注意ください。

今回の申込では、大学等に進学する前に高校を通じて奨学金の申込ができます。今回は5月から7月が申込期間ですが、今年の10月にも申込期間がある予定です。また、進学した大学や専門学校でも日本学生支援機構の奨学金を申し込むことができますし、高校を卒業後浪人した場合も高校を通じて申し込むことができます。

まずは、奨学金制度の概要や申込み手続き等の内容についての動画をみていただきます。  
30分ほどの動画です。

(動画視聴 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/flow.html>)

それでは、今回の申込みの手順について説明します。

「申込みのてびき」と書かれた青色の冊子の2ページ目を見てください。

ここに申込みの流れが書かれています。

この流れにそって申込みをするのですが、その前にまずは、奨学金が本当に必要かどうか、ピンク色の給付奨学金案内の冊子、緑色の貸与奨学金案内の冊子を見ながら、保護者の方とよく話し合ってください。特に貸与奨学金は申し込んだ人が返還していく奨学金です。借りる額等は特によく相談してください。

では申し込む場合の流れについて説明します。青色の「申込のてびき」に沿って説明していきます。ページは3ページを開いてください。

I 準備とありますが、これは本日配付した【スカラネット申込み入力について】のプリントに期限やID、パスワードが記載されています。あとで確認して記入してください。

II 申込内容ですが、「申込のてびき」4ページ目から冊子に記入する欄がありますので、それにしたがって12ページまで記入します。

詳しい記入方法についてもこの冊子に書かれているので、必ず全ての項目を確認し記入するようにしてください。記入について分からないところがあれば、事務室へ聞きにきてください。

12ページまで記入が終わりましたら、Ⅲ必要書類の用意をしてもらいます。「申込のてびき」に挟まっている「様式集」を取り出してください。「申込のてびきは」13ページを開いてください。てびきと様式集の目次に記載されたAからVの記号が対応しています。提出が必要な書類をチェックし、そろえてください。配付したプリントの【提出が必要な書類について】にも必要な書類がまとまっています。

書類の準備が終わったら、次はインターネットでの申込みをしてもらいます。

入力サイトのスカラネットで入力する必要があります。

「申込のてびき」23ページと、配布した【スカラネット申込み入力について】と書かれたプリントにログインページのURLとQRコードが載っているのでアクセスします。

ログインページで、プリントに載っているインターネットでの申込みに使う識別番号のユーザIDとパスワードを入力します。また、水色の封筒の「マイナンバー提出書」のセットの中に印字されている申込IDとパスワードも入力します。

入力サイトのスカラネットにアクセスしたら、記入した「申込のてびき」4ページからを見ながら入力をしてください。

入力が終わると受付番号が表示されるので、印刷したり、画面のスクリーンショットを保存したりして控えておいてください。提出する書類に記入が必要です。

入力が終わったら、マイナンバー関係の書類は提出用封筒で各自郵送し、それ以外の必要書類は学校の事務室に提出します。提出の期限ですが、7月15日（金）までに、事務室へ提出をお願いします。

スカラネットの入力と書類の提出ができれば、奨学金の申込みは完了です。

最後に、給付奨学金について補足説明をします。この給付奨学金の対象となる人は、あわせて授業料と入学金の減免も受けることができます。ピンク色の冊子の13ページにも記載があります。これは、進学先の学校で申し込む制度で、学校によって手続きが変わるので対象のかたは確認してください。

以上で自分からの説明は終わりです。

分からないことや困ったことがあれば、事務室まで聞きに来てください。

(質疑応答)